

北朝鮮のミサイル避難訓練の実施を求める請願

8月29日、北朝鮮はミサイルを発射し、そのミサイルは日本上空を飛び越し北海道東方に落ちた。そして9月3日には6回目の核兵器の実験を実施し、唯一の被爆国である日本の願いもまたしても無残に踏みにじられてしまった。

この北朝鮮の一連の動きに対し日本はなす術もなく、突然ミサイルが北朝鮮から飛んでくるやもしれない不安の中で生活を余儀なくされており、ミサイルに被弾した際、避難の方法もわからない状況である。

自治体の第一義務は市民の生命、身体、財産を守ることである。そのためにも、有事の際に市民がどのように行動するべきであるか、どうすれば命を守ることができるのかを率先して行動しなければならないと考える。

平成29年4月19日、内閣官房は国民の不安に対応するため、総務省消防庁を通じて、各都道府県知事あてに、ミサイル避難訓練を実施するよう通知がなされており、全国ですでに20か所以上でミサイル避難訓練が実施されており、訓練を実施した自治体の反響は概ね好評であると聞いている。

町田市も市民の不安解消のため、東京都の中でも率先して、有事への対応、具体策を練り、市民への危機管理教育も実施していただきたく、政府、東京都、町田市の三者で、できるだけ早い時期に北朝鮮ミサイルからの避難訓練を実施することを求める。

請願項目

- 1、内閣官房、総務省消防庁の通知を尊重し、国、都、町田市と連携を図り、できるだけ早い時期に北朝鮮ミサイルからの避難訓練を実施すること。
- ~~2、有事の際、安全といわれる建築物や場所がについて、調査して公表すること。~~